## 平成25年度予算見積調書

76, 984

前年額

77,668

課室名:農業支援課 相当名:農業大学校担当

内線: 4052

684

(単位:千円)

番号 説明事業 事業名 会計 款 項 Ħ -般会 農林水 農業費 農業大学校費 農業大学校移転整備事業費 農業大学校移転整備事業 B37 産業費 根 拠 農業改良助長法第7条第1項第5号 埼玉農業の競争力強化 事業 平成22年度~ 戦略項目 08 平成27年度 法 令 期間 分野施策 030201 収益力ある農業の確立 1 事業の概要 5 事業説明 近年の農業大学校の入学生は、非農家出身者が多くを (1) 事業内容 工事監督、検査等業務に必要な事務費 占めるなど就農を希望する学生が多様化している。 ア 監督業務等事務費 5.172千円 そこで、農業の担い手養成の拠点施設である農業大学 測量試験·補償費(単年事業) 実施設計委託費、土木工事監理業務委託費、調査業務委託費ほか 49,012千円 校を県内有数の農業地帯である県北の熊谷市に新たに整 ウ 丁事関係費(単年事業) 構造計算適合判定手数料、完了検査手数料、旧施設解体工事費ほか 13,729千円 備し、将来の担い手を確保・育成することにより、新た な機能を付加し、魅力ある農業大学校を実現することに (2) 事業計画 より、埼玉農業の持続的な振興を図る。 平成22年度 立地調査、基本設計 用地買収、測量試験、実施設計 (1) 監督業務等事務費 5.172千円 平成23年度 南側土木造成工事、本館施設建築工事 北側土木造成工事、実習棟ほか建築工事 (2) 測量試験·補償費(単年事業) 平成24年度 49,012千円 (3) 丁事関係費(単年事業) 平成25年度 13,729千円 平成26年度 区画整理・付替道路整備等工事、ハウスほか建築工事 平成27年度 (移転開校)、工事影響家屋診断、既存備品整理 (3) 事業効果 新たな機能を有した魅力ある農業大学校の整備により、多様な埼玉農業の担い手育成が可能となる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 外部検討委員会を設置し、魅力ある農業大学校づくりの検討を実施。 2 事業主体及び負担区分 イ 外構で使用する植木は寄付を実施。植栽は学生の活動により実施。 (県10/10) ウ 敷地管理の一部を直営により実施。 地方財政措置の状況 地域活性化事業債(61,000千円)の元利償還金の 30%が後年度基準財政需要額に算入される。 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円 財 源 訳 前年との 予算額 一般財源 対比 県 債 諸収入 159 決定額 67, 913 67,000 754  $\triangle 9,755$